

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1273600377		
法人名	社会福祉法人北斗泰山会		
事業所名	グループホーム あいや		
所在地	千葉県印西市草深字天王脇1132-8		
自己評価作成日	平成23年2月1日	評価結果市町村受理日	平成23年3月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	東京都港区台場1-5-6-1307		
訪問調査日	平成23年3月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様に笑っていただけるように声かけ、レクリエーション、行事等に力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

優れている点として ① 法人クリニックとの密接な連携によって、日常的な健康維持管理がされている他、ターミナルへの対応体制も整えつつあります。 ② 利用者アンケートでの家族の満足度が高く、感謝のコメントが多く寄せられています。 工夫点として ① 食事の時の調理・配膳・食器洗いなどで、利用者の自立支援への心配りが感じられます。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の方々と触れ合いを持ちながら家庭的な雰囲気の中で自立した生活ができる様にお手伝いをするの理念のもと、職員ひとりひとりが毎日、それを頭に入れて業務に努めている。	地域の方達のふれあいと家庭的な雰囲気を大事にした理念を掲げて、朝礼等で折に触れ理念の共有を図っていますが、ニュータウン郊外で交通量も多いところに立地しており、地域住民との交流が少ないのが現状です。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	周りのお店を積極的に利用し、何かある時はこちらからもアプローチしている。	コンビニのおじさんがクリスマス会にサンタのオジさんで来てくれます。外食店では誕生会を開きます。園児20人の来訪があり利用者は大きな感動を得ました。近隣との付き合いは多くはありませんが、馴染みのふれあいを大切に深めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々が集まる行事等でホームの紹介をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催回数が少ないので今後は力をいれたい。	地域住民の方の出席者の協力が難しく、年1～2回の開催に止まっていますが、11月に着任した新ホーム長のもと23年度は会議をより活性化させたいとしています。	23年度は年3～4回を目標に、年度初めに年間開催日程を作成、会議委員に通知し、ホーム内にも掲示する等して、年間を通して会議の重要性を内外に啓発することが望まれます。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護相談員を受け入れ、日頃から協力できるように努めている。	地域に根ざした医療・福祉の法人であることから、施設経営において常時行政との関係を深めると共に、例年秋には市の文化会館で法人主催の福祉ボランティアコンサートを行い、多くの市民に楽しんでもらっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	学習会を開いて職員ひとりひとりが身体拘束、行動制限を絶対にしないように心がけている。	夕暮れの時間帯には特に帰宅願望が強まる利用者を安心させるため、レクリエーションや散歩、食事準備等でそれぞれ各自に適した役割を与えています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	学習会を開いて職員ひとりひとりが虐待のないよう努めており、日頃から利用者の身体チェックも行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学習会を開いており各関係機関と連絡体制をとっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	対面式でお話し理解をいただくようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けており、要望があれば対応するようにしている。	日頃からが家族と連絡を取りあってはいますが、運営に反映させるような意見となると、意見箱でも得られていません。	地域密着型施設として、地域や住民(家族を含む)等の外部の意見聴取と運営への反映のため、運営推進会議、家族会、家族アンケートなど組織的・計画的・継続的な取り組みが望まれます。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	親睦会等や職員会議等を定期的にかけてオープンに意見を述べてもらっている。	ホームでの職員全体会議が月初めに開催されています。欠席者はその理由を事前通知するものとし、出来るだけ職員全員の出席を促しています。ホーム長は直接職員の意見・提案を聴取、改善すべき点について話し合っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格等を取得した場合は金一封を出すなど少しでも職員のやる気につないでいる。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会、講演会、研修等に参加できるように機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との合同学習会などの場を定期的に設けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	信頼関係を持てるように職員ひとりひとりが理解しており声かけを増やしてケアに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	要望等に出来るだけ答えられるように関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何に困っているかを早急に気極めてよりよいサービス提供に繋がるように支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭的な雰囲気のもと共に支えあえるような関係作りを日々実践している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族関係を尊重したサービス提供を心がけている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの生活歴を大切に各関係機関との連絡体制をとっている。	馴染みの床屋・美容院や行きつけの店への買い物等の同行、同窓会出席や外泊のための送迎など、場所や人との関係支援をしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1人1人の性格を把握して職員が仲介の立場になりながら共に支え合える支援をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも相談できるように説明して関係機関にも伝達している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるだけ本人の希望を尊重して日々のケアに努めている。	本人のニーズを把握するために、場面観察の手法を導入し、また、ケース記録に細かな気づきを書きこむよう職員に徹底しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント、ケアシートなどで把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録、ケアシート等で把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各関係者と話をして各々の意見を反映させたケアプラン作りをしている。	利用者の高齢化・重度化が進行していることから、訪問看護師にもチームに参加してもらっています。	介護計画作成時に家族の参加を得ると、家族のホームへの信頼が高まるものと思われれます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	随時ケース記録を記入して介護計画に反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	他事業所とも連携をとり様々な状況に対応できるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	各関連機関と連絡をとり支援体制を整えている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望を優先して各々の医療機関に受診できるように支援している。	法人経営のクリニックから毎週1回内科医の理事長が自ら来訪し、音楽療法を利用者の皆さんにしたあと、診察しています。利用者が希望する病院があれば、紹介状を書いて支援しています。	ご家族の中に、利用者の健康状態について診察結果を知りたいという声があるので、結果伝達の方法などを検討し、実行に移すことが期待されます。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関と常に連携をとり日頃から連絡体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から医療機関との連絡体制を整えている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族等と話し合っ関係機関とも連絡体制を密にしている。	今後ターミナルが予想される利用者が複数います。家族との同意書書式を作成し、家族と話し合いをしています。また、訪問看護サービスとも連携をはかったり、法人クリニックにてターミナルについての職員研修を行うなど、対応準備を進めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	学習会を開いて職員ひとりひとりが実践できるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行い、日頃から災害に備えている。	近隣の商店、コンビニとお互いの支援ということで災害時協力関係が出来ています。スプリンクラーは既に設置済みで、夜間時避難訓練も実施しています。非常食は3日分用意しています。	居室、共有空間にある家具類の滑り止めについて今一度点検し、対策を講じることが期待されます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員ひとりひとりが人格を尊重する事を理解しており配慮している。	利用者は「さん」づけで呼び、丁寧な言葉づかいに心がけています。なるべく同性介助をおこなっており、入浴、排泄などは適時にさりげなく誘導して行っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何気ない声かけを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意向をできるだけ尊重したケアに努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意向をできるだけ尊重して実践している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆で力を合わせて家庭的な雰囲気作りをしている。	メニューは職員が考え本部栄養士がチェックしています。食材は食材会社だけでなく周辺商店からも購入しています。利用者は野菜きざみ、配膳などよく手伝っており、食器洗い・拭きなどは職員の手をかけないほどです。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日頃の体調をよく観察して細かい献立表を作成している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの大切さを職員ひとりひとりが毎日理解して実践している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	本人の排泄パターンを1人1人把握して声かけなどを行い適切な支援を心がけている。	排泄チェック表で本人の排泄パターンをつかみ、適時に誘導しています。なるべくオムツを使用しないよう、本人に気持ちよくしてもらえるよう心がけています。夜間も同様で、オムツはなるべく使用しない方針で臨んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員がよく理解しており食事の工夫、医師等に相談しながら気をつけている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	午前、午後を問わず希望に沿うようにしている。	原則週2回ですが、本人の希望でもう1回増やすこともあります。なかには毎日の人もいます。無介助の利用者もいます。全介助の人には2人の職員が介助しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者の状態をよく把握して個々にあったケアを心がけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員ひとりひとりが理解しており状態の変化等に気をつけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生き生きとした生活提供が出来るように職員がアイデアを出しながら支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	希望に沿って外出するようにしている。	外出したいかどうかは個別にわかるのでその都度対応しています。外出したいが言葉でいえない人は、博物館や飛行場など遠出イベントの時に対応するようにしています。前の道路の交通量が激しいので、敷地内や周辺歩道1周だけの時もあります。	家族アンケートに散歩が少ないとの意見も複数ありますが、家族が実態を知らない場合もありますので、個人別に外出記録をつくり、家族へ伝達することが期待されます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々に合わせて支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個々に合わせて対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活空間には気を配り、季節感が出るように飾り、写真等を配置している。	テラスとベンチのある中庭を挟んで明るい回廊と南に面した明るいリビングとキッチンがあります。ホーム内は清潔に維持され、バリアフリーで快適に移動でき、空調・換気も適切に保たれています。丁度利用者作成の雛祭りの飾り付けがあり、季節感が感じられました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳部屋、中庭、ソファなどの場所を確保している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物、趣味の物、落ち着いた物を配置している。	居室は6畳の広さでフローリング仕上げになっています。使い慣れたタンスや椅子、ソファ、写真など利用者それぞれのスタイルに従った部屋の工夫がされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援の考えを大切にして環境整備に取り組んでいる。		